

蒲郡マンガ歳時記

待ち遠しい春



企画広報課 ☎66◆1145

読む



水族館



学芸員 小林龍二

竹島水族館
☎68◆2059

【冬の水槽管理】

寒くなってくるとアシカショーは手がマヒして動かなくなり辛いです。水槽に手を入れるのも嫌になります。これは家で金魚やメダカを飼っている方々も同じ思いでしょう。夏場は休日ともなると鼻歌まじりで水換えなどをして、熱中すると水槽をいじれ

る休日が待ち遠しくなるのですが、これがひとたび冬になると、お風呂以外は水になんかさわりたくないの、休日でもコタツに入りミカンを食べながら「水換えは来週でいいや」と思うことになります。水族館の仕事は手が水にぬれている時間が、乾いている時間より長いくらいなのでこの

時期はとても辛いです。私は冬が苦手で、寒いと機嫌が悪くなり動きも鈍くなります。ましてや水槽に手を突っ込むなんてできればしたくない。そこでこの時期、私の担当水槽のほとんどには、水槽に手を入れて掃除や手入れをしなくていいように、展示生物とは別に、コケや汚れ、残り餌を食べてきれいにしてくれる貝や魚を水槽内に投入して、メンテナスを彼らに任せています。お掃除屋さん生物たちはもと

もとコケが好きな草食だったりするので、喜んで水槽内をきれいにしてくれます。しかし、きれいになってしまうと食べるものがなくなるので、お腹がすいて水槽内をやたらアツチコッチと動き回るようになります。こうなると飾ってあったサンゴをひっくり返したり、植えてあった水草を引っっこ抜かれたりして、結局私が腕まくりをして水槽に手を入れて「わや」にされた水槽内のメンテナスをするのはめになってしまいます。